



感謝

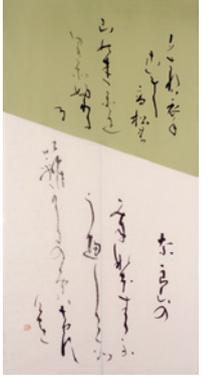
謙虚

一流



なかじょう りん
中城 琳さん
(書道)

藤小学校、藤中学校卒業
埼玉県立滑川総合高等学校3年生
第29回国際高校生選抜書展 文部科学大臣賞 受賞



部員には経験者もいる中で、中城さんは全くの書道初心者。それでも顧問の石原裕子先生を信じて練習に励みました。受賞までの道のりについて、「それまでの経験は関係なく、筆の持ち方や強い線を書ける姿勢をとにかく研究して、コツコツ地道に努力するということを1年生から積み重ねた結果だと思っています」と語ります。

常に、関わる人や歴史を作ってきた先輩たちへの『感謝』を胸におくことなく『謙虚』に努力を続け、とことん結果にこだわりのトップを狙える『一流』であること。部活動のモットーでもあり、中城さんが書道に取り組む上で大切にしていることです。

文部科学大臣賞の受賞

『書のア子園』とも呼ばれる書展で、約1万2000点の作品の中から個人賞最高位の賞に選ばれた中城さん。書道との出会いは意外なものでした。

「姿勢を整えることや、『ここに決める』というところに強い線を引きことで、自分の芯も通っていくのを感じました。書道は人を表しているなというところがたくさんあります」と、書道の魅力を語ります。「静かなイメージとかわるがちですが、そこは違う。いろんな表現の仕方があって面白いんです。それを若い世代にも伝えたい。パフォーマンスなどを通して、書道の面白さを積極的に発信していきたいです」と話す中城さん。

今後の目標

1年生で入選し、2年生で最高位の賞を獲得。「3年生でも入選し、今の部員と新しく入った後輩たちとで全国優勝したいです」と目標を掲げます。作品を作る上では、「これで高校生活の書道は悔いなく終われる」と思えるような、集大成となる良い作品を作りたい」と意気込みます。中城さん渾身の一作が今から楽しみです。

編集後記

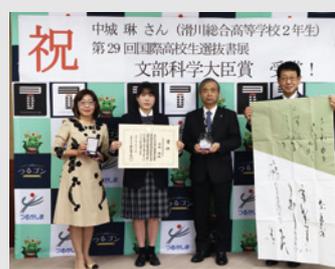
今回の特集は、コロナ禍の生活に悩み苦しみながらも、前向きに取り組む藤中学校の京都応援プロジェクトを取材しました。京都の方々と同様に、特集をお読みいただいた方からも、藤中学校にメッセージが送れます。QRコードを読み取るか、アドレス (https://mail-to.link/m7/gfzdu) を入力すると、メール作成画面が開きます。ぜひ、生徒たちへの温かいメッセージをお願いします！

ご意見・ご感想は秘書広報課広報聴担当へ
✉10200001@city.tsurugashima.lg.jp



中城さんが市長を表敬訪問しました

3月30日、中城さんが、顧問の石原先生と共に、市長に第29回国際高校生選抜書展における文部科学大臣賞の受賞について報告しました。



「この賞をとれたこと、また、市長を訪問する機会をもらったこと、嬉しい気持ちでいっぱいです」と話してくれました。作品の解説もしてくれた中城さん。書かれているのは、万葉集から選んだ2首だそうです。